

2012年第1回 武田薬品工業株式会社湘南研究所の環境保全協定に関する
連絡会議議事要録

- 1 日 時 2012年(平成24年)5月25日(金)
10時から11時20分まで
- 2 場 所 武田薬品工業株式会社湘南研究所会議室
- 3 出席者 村岡地区自治町内会連合会、小塚町内会、小塚東町内会、高谷町内会、
宮前町内会、渡内町内会、渡内北町内会及び渡内西町内会の代表(8名)
武田薬品工業株式会社湘南研究所、研究業務部、エンジニアリング部及び
総務人事センター職員(7名)
藤沢市役所環境保全課、保健所生活衛生課、土木維持課及び村岡公民館職
員(8名)

4 内 容

あいさつ及び自己紹介の後、進行した。

(1) 藤沢市からの報告

① 環境保全協定22条に基づく事故発生時の報告の時期について

昨年の漏水事故では、藤沢市への報告が遅かったため、報告の時期について鎌倉市を交えて検討しました。その結果、拡散防止措置を優先させながら監督官庁へ連絡すると同時に藤沢市・鎌倉市へも連絡する、ということにいたしました。

② 連絡会議の構成員に市議会議員を参加させることについて

町内会から市議会議員をメンバーに加えては、との提案がありました。

(町内会)

湘南研究所の運営にあたって、町内会長として地元の相談に応じているが、意見・要望の多い町内会もあり苦勞してきた町内会長もいる。地元の市議会議員には地区の顧問として町内会等の運営で協力いただいているので、2名程度をメンバーに加えるのはどうか。

(武田)

まず、基本的には町内会長である皆様方が、地域の代表であると考えております。この会議が発足して約1年になりますが、皆様のご協力を頂き、十分機能が果たされており、不都合は無かったと感謝しております。今まで、市議会議員も含め疑問等がある住民の皆様へは、直接説明させて頂いております。

今後、町内会長の皆様にお問い合わせ等が多くなってしまい、ご負担をかけるようであれば改めて検討することとして、しばらくはこのままでいかがでしょうか。

(町内会)

結構です。

連絡会議に村岡地区出身の市議会議員をメンバーに入れることについて、今回は見送るという結論になりました。

③ 藤沢市に寄せられた要望等について

事故のあった加熱滅菌装置について、水質汚濁防止法の特定施設として届出するようという要望がありましたが、該当しないことを説明いたしました。

やはり事故に関連して、各実験室にオートクレーブ（小型の滅菌装置）の設置を指導してほしいとの要望がありましたが、文部科学省の現地調査でこの点は問題ないとしていましたので、藤沢市としては安全面の確認を今後とも行っていくことを説明しました。

また、村岡地区自治町内会連合会に対し、すべての町内会をメンバーに入れること、傍聴を認めること、の2点について市と武田薬品に働きかけてほしいとの要望があったとのことです。

(武田)

疑問や聞きたいことがありましたら、積極的に対応するようにしていますが、なかなか言い出しにくい場合もあると思います。市から紹介頂き、弊社からアプローチしてご説明にお伺いしたこともありました。そのようなお話があれば是非お願いします。

(町内会)

武田に関する質問をしたい町内の方に対しては、武田は必ず答えてくれるから直接質問するようにと説明しています。

(町内会)

ある団体の署名を求めるチラシがポストに入っていたが、市は承知していますか。

(藤沢市)

専門家や広範な市民を入れた安全協議会の設置を求めているもので、6月議会に請願として出されるようです。

(2) 武田薬品工業からの報告

① 環境測定結果報告

2011年度の環境測定結果を報告します。

排水は、亜鉛が管理目標値を若干オーバー（法令基準値以下）の数値が出ました。研究所の立ち上げ時に亜鉛メッキしたものが流れ出たもので、メッキ部分の洗浄等速やかに対策と取ったことで数値が低下して、安定した運用が出来るようになりました。それ以外の項目は、管理目標を下回っています。

排気はガスエンジンとボイラーがありますが、窒素酸化物を連続測定している施設については、その数値は守衛所で見られるようにしています。ばいじん、窒素酸化物ともに管理目標値を下回っておりました。

騒音は、夏場のセミの声や秋の夜間で虫の声の影響を受けたところで管理目標値を超えましたが、それ以外は下回っております。測定の時期等を検討したいと思っています。

振動は、管理目標値を下回っていました。

臭気も下回っていました。

大気の自主調査について、7地点で使用開始前の冬から今年の冬まで5季実施しました。使用開始前の冬と今年の冬を比較することで、この研究所から排出される窒素

酸化物の影響を確認しましたが、ほとんど変わらないか少し下がっていますので、研究所からの影響はほとんど無いと考えられます。環境アセスメントの予測が裏付けられたと思います。

② 漏水事故関連

昨年起きた漏水事故について、前回連絡会議での報告以降の対応ですが、事故が起きた場所の対策は12月中に終了しました。さらに類似施設に対しても同様に対策を施しました。

研究所の安全の調査について、環境安全等に高い専門性を持つ外資系のコンサルティング会社をお願いしました。この会社は、海外の会社も評価しているので、国際的な事例と比較した調査も行えるということで選定しました。

調査の内容ですが、事故を起こした施設に関しては、対策を取った後の設備として、懸念事項の洗い出しを3月までに行いました。4月に設備機器自体の問題点の洗い出しを実施し、その後ヒューマンエラーを含めた環境安全対策の調査を行っています。今後、調査の終わっていない部分・項目の安全性評価を8月中旬までに行います。

これまでの所、外部機関からは、国際的な製薬・化学メーカーと比較しても管理レベルは高い、事故後にとった対策は適切である、とのコメントをいただいています。しかし、さらに万全を期すために様々な緊急事態を想定した訓練の実施とその結果を考慮した対応手順の見直し、人為的ミスをなくすため手順書の改良、設備機器のメンテナンス手順見直し、などの指摘をいただいています。

指摘に対する対策は順次行っておりますが、研究所全体の安全性評価でもこうした指摘をいただければと思いますので、これらについても順次対策を行っていきます。以上については、次回の連絡会議で詳しく報告いたします。

③ 環境モニター推薦依頼

昨年環境モニターの推薦をしていただき委嘱しましたが、今年もお願いいたします。実施内容は昨年と同じで、年1回アンケートに回答頂く方式でお願いしたいと思っております。

④ その他

4月8日に桜の会を開催しました。近隣にポスティングによる案内をした結果、近隣の老人ホームからもお越し頂き約2,700名の来場者でした。

秋頃には、厚生行事として秋祭り(名称・内容等未定)の開催を予定していますが、地域の方にもお越しのいただきたいと思っております。

ボランティア清掃を5月17日に行いました。今後も地域の一斉清掃と日程を合わせて行いたいと考えますが、日曜日ですと従業員が集まりにくいので、その前後の8月下旬、11月中旬、12月中旬に予定しています。

(3) 質疑

(町内会)

桜の会の見学の話がありましたが、それ以外でもイベントがあれば地域住民を呼んでいただきたいし、見学会などにより地域の安心につながるような場の企画をお願いする。

(武田)

納涼祭を夏に実施することを考えていましたが、節電のため時期を見直し秋祭りとして計画しています。また、小中学生を対象に化学に興味を持ってもらうような見学会を検討しており、今後、市の教育委員会等に相談させていただきたいと考えています。

(町内会)

事故時に応急措置を行い、国に報告した後藤沢市に連絡するとありましたが、連絡は一緒のタイミングでいいのではないかと。

(藤沢市)

ご指摘のとおり、監督官庁である国に報告したのと同時と考えています。

(町内会)

今ニュースになっているホルムアルデヒドなど規制対象外の薬品の管理について聞きたい。

(武田)

ホルムアルデヒドの水溶液であるホルマリンは使用しています。すべての薬品類は使用後回収し、産業廃棄物として処分しています。

(町内会)

桜の会の見学会では、舗装されていない場所の見学が車いすでは無理かなと思いましたが。車いすでも通れるようにしてもらえれば。

(武田)

敷物を引くなど工夫いたします。

(町内会)

この会議の傍聴については。

(藤沢市)

傍聴については、皆様のお話し合いの中で決めさせていただきました。今までのところは認めようということにはなっていません。

(町内会)

これまで行ってきた説明会では、不規則発言が出て大変だったので、この会議でも認めたら会議にならないのではという意見だったので、傍聴は見送るということになっています。

(藤沢市)

現状の連絡会議であれば、忌憚きたんのない話し合いをすることが出来ると思います。

質問がなければ、本日の連絡会議はこれで終了いたします。

次回は、外部機関の調査の報告をしていただきたいと思いますので、それがまとまった後の11月頃に開催したいと思います。